

ヒゲナガホラヒラタゴミムシ

コウチュウ目オサムシ科

Jujiroa imunada Uéno

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー なし

選定理由

本県が日本海側唯一の*Jujiroa*属の分布地であり、さらに県内でも極めて局所的な分布をしている。生息地の一部が開発計画により影響を受けるため、保護対策の実施が求められている。

形態

体長10~12mm。体色は淡い赤褐色で、体型は扁平である。複眼は小さく退化しているが、触角と脚は長く、地下浅層での生活に適した形態をしている。また、後翅も退化し、飛ぶことができない。

国内分布

これまで正式な記録があるのは石川県だけである。

県内分布

金沢市の犀川中流域兩岸の凝灰岩で構成される地下浅層だけに生息すると思われていたが、最近になり医王山にも生息することが報告された。

生態

凝灰岩で構成される地下浅層に生息し、石切場跡の洞窟や山地帯の石の堆積した不安定な特殊環境に見られる。成虫は、厳冬期の1、2月を除き周年見ることができる。新成虫は8月頃から12月頃まで見られ、羽化は長期間続くものと思われる。成虫はカマドウマ類や小バエの死体など様々な微小動物の死体を食餌としていると考えられている。成虫の寿命は比較的長く、少なくとも7~8ヶ月程度は生きようである。成虫で越冬すると思われるが、産卵や幼虫についての詳細はわかっていない。

生息地の条件

風化した凝灰岩で構成された地下浅層に生息するため、このような地下環境がある程度の規模で残されていることが重要である。

生存の危機

開発計画により生息地の一部が影響を受ける予定になっている。影響を受ける生息地の個体群に対する保護対策を実施することが必要である。(A, D)

特記事項

本県産の個体がタイプ標本になっている。

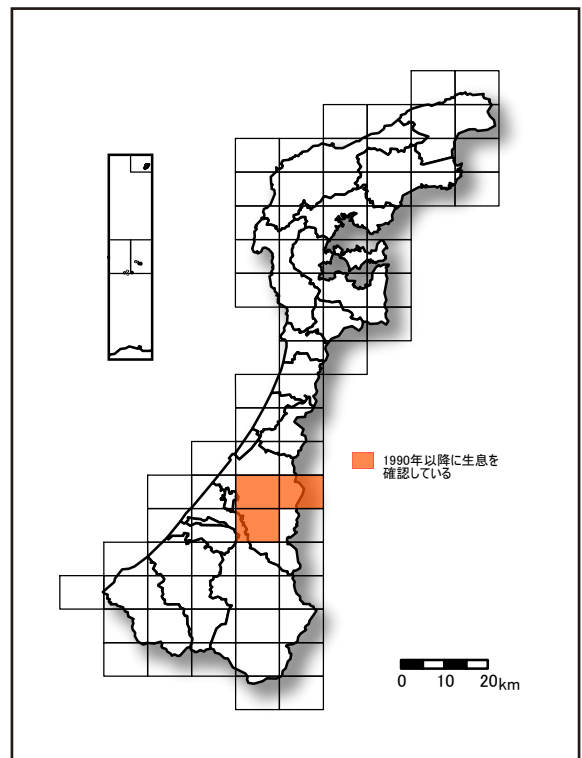
参考文献

Uéno, S. 1993. Discovery of highly modified species of *Jujiroa* (Coleoptera, Carabidae) on the Japan Sea side of central Honshu, Japan. *Elytra*, (21): 329-335.

井村正行 2007. 医王山におけるウエダオオズナガゴミムシ(*Pterostichus uedaorum*)の生態に関する報告. とっくりばち, (75): 20-22.



写真提供者: 富沢章



県内の分布